

## 横浜市議員 坂本勝司


### 市会定例会にて坂本勝司横浜市議員が 山中竹春横浜市長および教育長へ質問



2022年12月9日(金)に令和4年第4回市会定例会(本会議)にて一般質問が行われ、民主フォーラム横浜市議員団を代表し登壇致しました。質問時間は11分と短い時間ですが、3項目11問について、山中市長および教育長に質問させて頂きました。

3月14日(火)の一問一答方式の質疑予定に先立ち、今号では、2022年12月10日(土)発刊のGuts!通信でご報告致しました11の質問のうち4質問について、あらためて内容をご報告致します。

#### 一般質問一覧 (坂本勝司)

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p>1. 今後の中学校給食のあり方について<br/>(1)令和8年度から原則給食を実施する必要性</p> <p>▶ (2)方針決定後もひとつの実施方式に固執することなく、<u>継続して温かい給食の実現に向けて柔軟に検討をすべき</u></p> <p>(3)横浜市立学校の会食の仕方について、黙食からの転換を進めていくべき</p> <p>(4)原則給食の実施に伴う食育の推進について</p> <p>(5)配膳や給食時間を十分に確保すべき</p> <p>(6)どのような実施内容であっても、給食の提供内容は食育を意識した献立とすべき</p> | <p>2. 誰もが、安心して、豊かに生活できる学校をめざした取組</p> <p>▶ (1)本市におけるいじめの認知件数の現状の受け止め</p> <p>▶ (2)今後のいじめへの対応</p> <p>▶ (3)教員による不適切な指導の認知と解決</p> <p>(4)教員間のハラスメントの認知と解決</p> <p>3. eスポーツ<br/>eスポーツの取組の意義</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             横浜市<br/>本会議等<br/>録画配信<br/>QRコード         </div>  |
|---|---|--|

### 中学給食に関する質疑応答

▶ 方針決定後も、一つの実施方式に固執することなく、継続して温かい給食の実現に向けて柔軟に検討すべき

**Q** 次期中期計画原案の中で、今後の中学校給食の在り方として「中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式で全員分の供給体制を確保する」ことが示されています。実施方式の検討にあたって、教育委員会では、「令和8年度から全員に提供できる」ことを検討の考え方の1つとしています。令和8年度からに固執するのではなく、時間をかけてでも「すべての生徒が満足する給食」を提供することを最優先に考えることが大切ではないでしょうか。

先の市会第3回定例会において、我が党のこがゆ議員が指摘したとおり、本市で実施したアンケート結果や他都市のアンケート調査結果からも温かさが求められていることは明らかです。

今回の検討で決着をつけるのではなく、絶えず生徒・保護者のニーズを踏まえながら検討を進める必要があるのではないのでしょうか。(坂本勝司)

**A** 学校給食法の趣旨を踏まえ、生徒の心身の健全な成長のためにも、また、将来の食生活を豊かにするためにも、スピード感を持って全員分の供給体制を確保し、中学校給食の利用を原則としていきたいと考えています。どのような実施方式であっても諸課題はありますので、今回のアンケート結果で明らかとなりました、「温かいおかずの提供」、「副菜の献立の改善」、「一人ひとりに合わせた量の調整」、「食育の更なる推進」などの諸課題を真摯に受止め、更なる発展に向けて、継続して改善に取り組んでいきたいと考えています。(山中竹春市長)

ハマ弁の喫食率向上に向けて継続した施策を講じると共に、  
公立中学校の完全給食の実現をめざします。



# 誰もが、安心して、豊かに生活できる学校をめざした取組に関する質疑応答

## ▶ 本市におけるいじめの認知件数の現状の受け止め ▶ 今後のいじめへの対応

**Q** 令和4年10月27日に文部科学省による「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」公表がありました。全国の小中高校などで認知されたいじめの件数が、前年度よりも19.0%増加し、61万5,351件と過去最高となったと報道があったことは、記憶に新しいことかと思えます。(～中略～)いじめの早期発見、早期対応を通じて、子どもたちが、他者を思いやり互いに尊重しあえる関係を築けるような取組をお願いしたいと思えます。(坂本勝司)

**A** 令和3年度は7,556件と昨年度から2,028件、36.7%増加しておりますが、児童生徒千人当たりで考えると全国平均よりは下回っています。認知件数が3割以上増えていることは、学校による把握が進んでいると受け止めることができますが、今後とも学校現場がアンテナを高くして早期に把握し、一件、一件のいじめを解決できるよう、引き続き支援を続けていきたいと考えております。本人や保護者の相談からの認知が全体の7割となっており、引き続き、定期的な教育相談、アンケートの実施、SOSの出し方教育の実践等を行います。また、道徳教育の実践や、児童生徒が主体的にいじめ問題を考える取組の推進、迅速かつ丁寧な初期対応が重要です。学校いじめ防止対策委員会の積極的な活用による早期発見、早期対応に取り組んでいきます。(教育長)

## ▶ 教員による不適切な指導の認知と解決

**Q** 全国で調査が行われている児童生徒間*の*いじめへの対応とは別に、子どもの安心を守るために、教職員から児童生徒に対して不適切な指導、言動または対応をしたという事態もあってはならないと考えます。子どもの安心を守ることが最も重要であることは言うまでもありませんが、そのためには、教職員が働きやすくすることも重要であり、教職員がハラスメントに悩んだ際に、しっかりとその状況を把握し、対応していく必要があると考えます。(坂本勝司)

**A** 校長は、校内巡回や保護者からの相談により、不適切な指導があることを認知した場合には、関係者へ聴き取りを行い、事実を確認します。また、保護者と話し合いの下、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう環境調整等の取組を進めます。教育委員会事務局は、校長への助言や指導を行い解決に向けたサポートを行います。また、必要に応じ人事的な対応を行います。先生御指摘のような教員による不適切な指導があったことにつきましては大変申し訳なく思っております。(教育長)

市民生活の安心・安全の充実、生活環境の改善に努め、  
虐待・DV防止の対策を進めます。



次回は、3月14日(火)の議会で一問一答方式での質疑を予定しています。  
オンラインでの配信もありますので、是非ご注目ください。

横浜市会  
本会議等  
録画配信  
QRコード



## 決意表明

私、坂本勝司は横浜市会議員として3期にわたり、地域コミュニティや仲間たち、さらには市・県・国と連携を取りながら市民のみなさまのより良い生活基盤が築けるように、日々Guts!の精神で突き進んでまいりました。

横浜市では、高齢者の自立促進の環境整備が求められています。「健康寿命日本一」をめざし、戸塚区でも高齢者が活躍できる場を提供し、地域社会の絆を深めてまいります。

また、防災に関しても地域が自立していくことが重要です。地域のコミュニティで防災意識・知識を高めながら地域の防災力を強化し、災害に強い街をみなさまと一緒に築き上げてまいります。

そして、子育て支援については、子どもや孫の代まで一貫した政策が提言できるように、よりいっそうの取組を行ってまいります。

これらの決意の源泉は、普段みなさまからお寄せいただいているお声です。住みたい街から育ててよかった街、横浜へ。これからもみなさまと一緒に歩んでいきます。坂本勝司にお任せください。

坂本勝司

坂本勝司の活動を  
フォローしてください

ホームページで

政策・活動実績を発信しています。  
坂本勝司を支援する会への入会フォームも  
こちらから。

SNSで

(Facebook・Twitter・Instagram)  
坂本勝司の日々の活動を発信しています。

